下川町地域公共交通会議における地域公共交通確保維持改善事業の概要

事業実施の目的・必要性

下川町は、北海道の北部にあり、北見山脈と天塩山脈の間に位置し、その面積は644.54㎢を有し、地域の東部からほぼ中央部を名寄川が西に貫流しており、気候は大陸的様相を呈し、夏期は比較的高温であるが、冬期間は著しく温度が低下し、その差は60度に及ぶこともある地域であり、町の面積の90%が森林地帯です。本町は、人口減少や車社会の到来により、公共交通の利用者が減少傾向にあり、運営は年々厳しさが増している状況にあります。その一方で高齢化率は4割を超え、交通弱者や交通空白地帯に住居する住民のための移動手段の確保をする必要性があります。

また、主要幹線である国道239号線が東西に長く走り、この幹線沿いに集落が多く張り付いていることから、集落間の距離を縮めるため地域住民の足としての町営バスの再編と乗合タクシーの導入を行っており、地域間幹線系統下川線・興部線に接続するフィーダー系統として、生活交通手段の確保を図っているところであります。利用者の確保と住民ニーズに対応した輸送形態を維持していくため、アンケート調査を実施して利用区域からの要望に近い公共交通を目指していくことで、生活の利便性向上の一端を担うことが可能となります。

地域公共交通の現況

・名士バス　２路線
（JR名寄本線廃止に伴う代替バス及び既存バス）
・コミュニティバス
（班渓線）まちなか（南町、西町、緑町、旭町、錦町、幸町、共栄町）

生活交通確保維持改善計画の目標

［地域公共交通の満足度］
2系統、目標値　良いともタクシー　95.0%　　班渓線　100%
［利用人数］
◆良いともタクシー　合計　目標値　6,942人/年
・班渓　目標値　305人/年　・渓和　目標値　78人/年
・北町　目標値　53人/年　・まちなか　目標値　5,496人/年
・上名寄　目標値　324人/年
・一の橋 二の橋 三の橋　目標値　686人/年
◆班渓線　目標値　4,493人/年

協議会開催状況

◆令和4年6月7日　第1回地域公共交通会議（書面）の開催
・生活サポート地域公共交通再編後の利用実績の報告
・令和5年度生活交通確保維持改善事業計画(地域内フィーダー系統)の承認
◆令和4年12月26日　第2回地域公共交通会議(書面)の開催
・「令和4年度地域公共交通確保維持改善事業（生活交通確保維持改善計画に基づく事業）」に係る事業評価の内容について
◆令和5年6月5日　第1回地域公共交通会議(書面)の開催
・生活サポート地域公共交通再編後の利用実績の報告
・令和6年度生活交通確保維持改善事業計画(地域内フィーダー系統)の承認
◆令和6年1月23日　第2回地域公共交通会議(書面)の開催
・「令和5年度地域公共交通確保維持改善事業（生活交通確保維持改善計画に基づく事業）」に係る事業評価の内容について

令和５年度事業概要

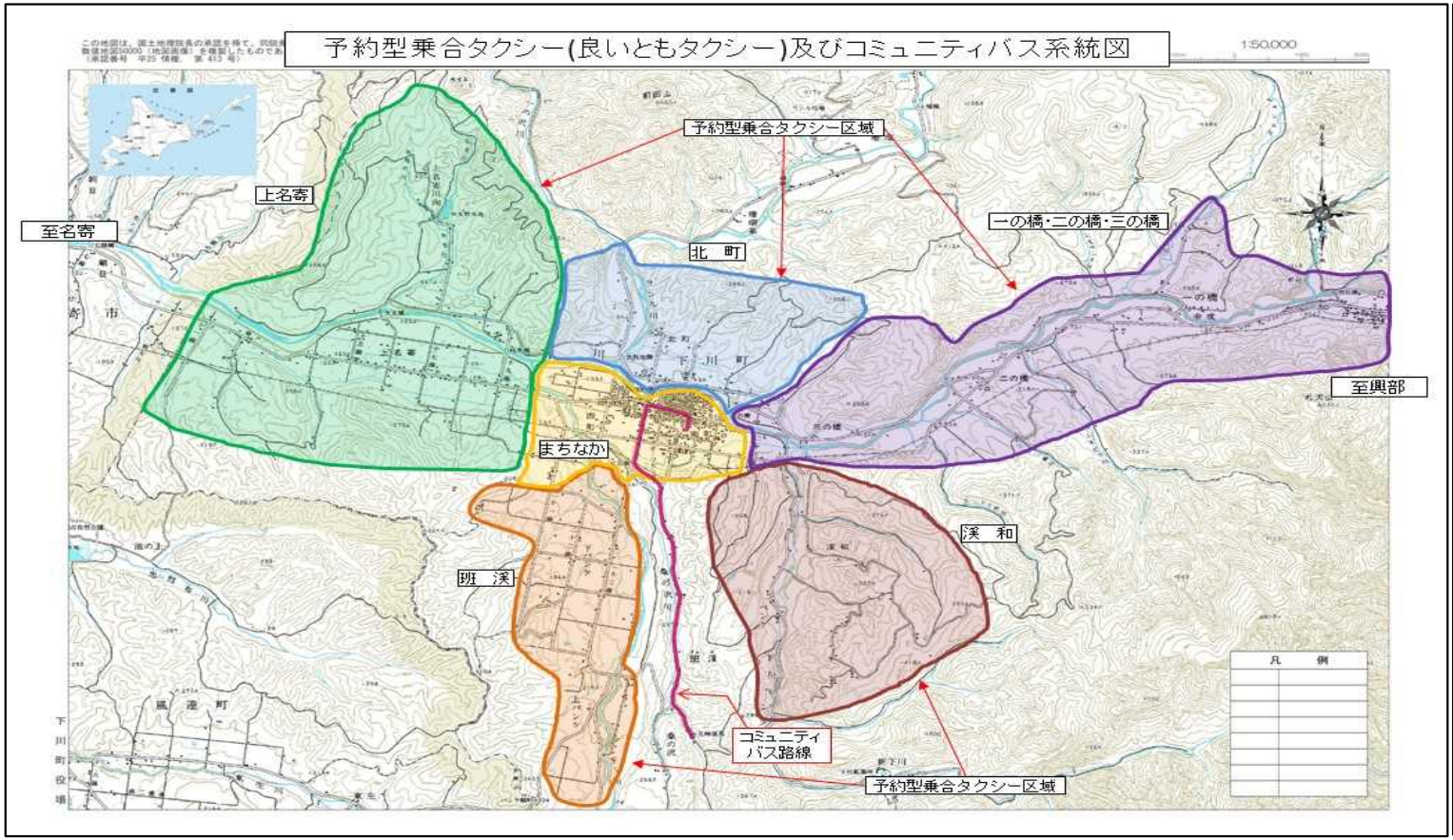
町営バス再編に伴う予約型乗合タクシー導入
◆良いともタクシー（6区域）
①班渓　②渓和　③北町　④まちなか（南町・西町・緑町・旭町・錦町・幸町・共栄町）⑤上名寄　⑥一の橋・二の橋・三の橋
（平日・土曜日～５便、日曜日・祝日～３便／料金：⑥の内一の橋500円、⑤及び⑥の内二の橋400円、①②及び⑥の内三の橋300円、③④200円）※小学生半額、未就学児は無料
◆班渓線（平日・土曜日～５便、日曜日～４便／料金：まちなか乗車200円、自由乗降区間100円）※小学生半額、未就学児は無料

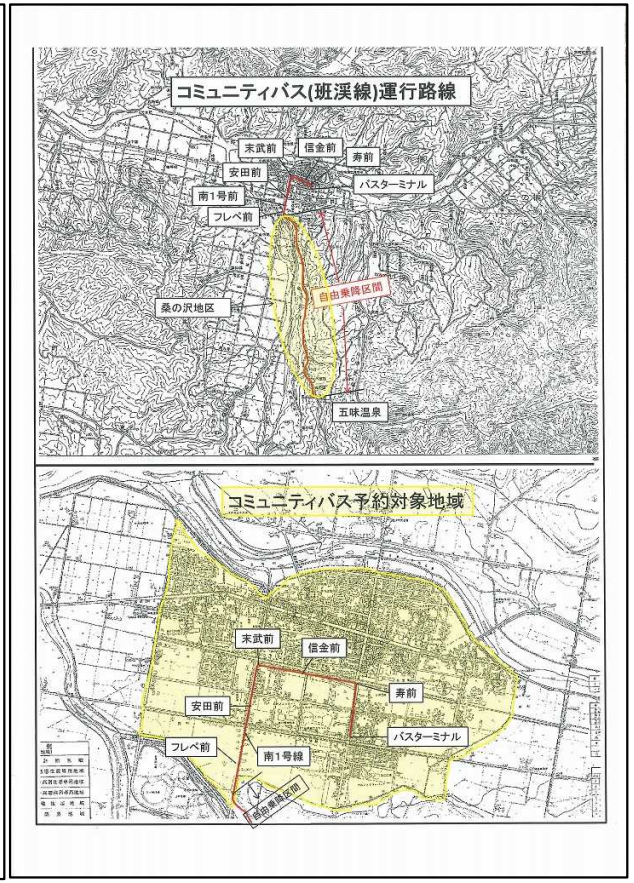
令和５年度事業の実施状況

１）プロセス、創意工夫

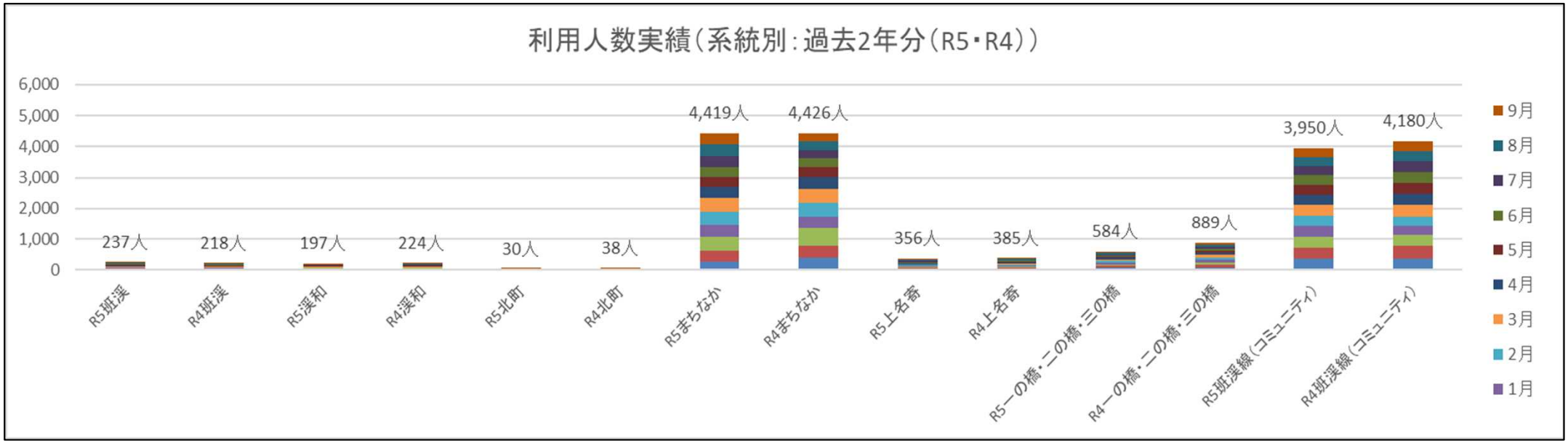
予約型乗合タクシーの導入については、地域住民になじみのないシステムのため、住民説明会を実施し、平成２６年１０月には一部運行区間を追加し全区間運行を実施している。
令和５年度は、乗車率の向上や利用者の確保を図るため町広報誌で予約型乗合タクシーの利用方法の周知を行っている。また、高齢者免許返納相談会での周知や、併せてアンケート調査を実施したため、その結果を踏まえた中で次年度以降の改善の検討を進める。

２）運行系統

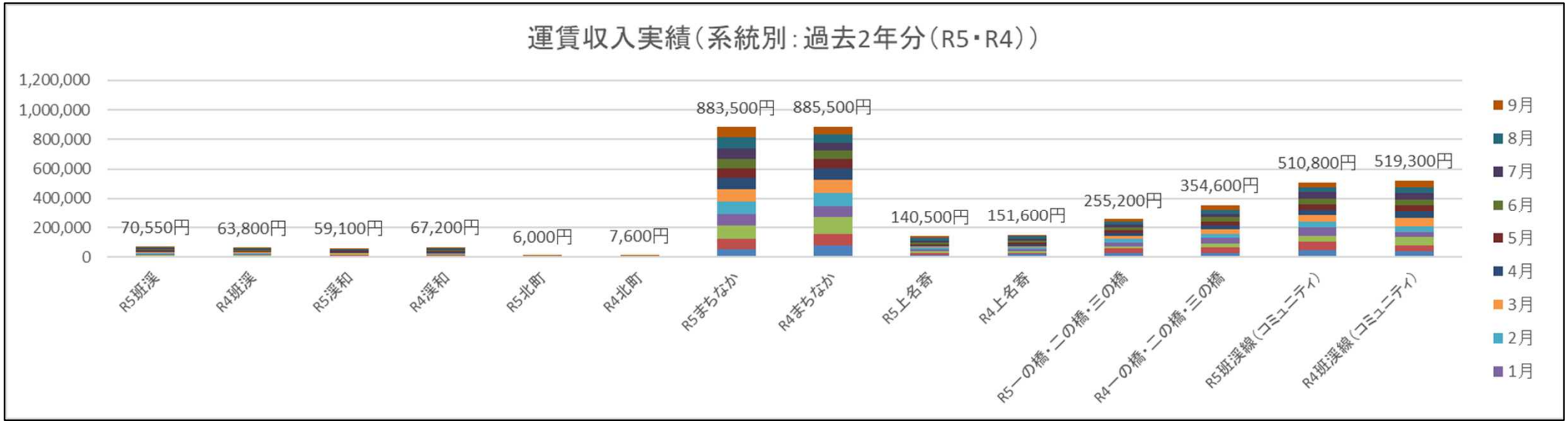




３）利用実績


利用人数実績（系統別：過去2年分（R5・R4））
6,000
5,000
4,000
3,000
2,000
1,000
0
237人
218人
197人
224人
30人
38人
4,419人
4,426人
356人
385人
584人
889人
3,950人
4,180人
R5班渓
R4班渓
R5渓和
R4渓和
R5北町
R4北町
R5まちなか
R4まちなか
R5上名寄
R4上名寄
R5一の橋・二の橋・三の橋
R4一の橋・二の橋・三の橋
R5班渓線（コミュニティ）
R4班渓線（コミュニティ）
9月
8月
7月
6月
5月
4月
3月
2月
1月

４）収入実績


運賃収入実績（系統別：過去2年分（R5・R4））
1,200,000
1,000,000
800,000
600,000
400,000
200,000
0
70,550円
63,800円
59,100円
67,200円
6,000円
7,600円
883,500円
885,500円
140,500円
151,600円
255,200円
354,600円
510,800円
519,300円
R5班渓
R4班渓
R5渓和
R4渓和
R5北町
R4北町
R5まちなか
R4まちなか
R5上名寄
R4上名寄
R5一の橋・二の橋・三の橋
R4一の橋・二の橋・三の橋
R5班渓線（コミュニティ）
R4班渓線（コミュニティ）
9月
8月
7月
6月
5月
4月
3月
2月
1月

5）事業実施の適切性

計画に位置づけられたとおりに実施した。

6）目標・効果達成状況

［地域公共交通の満足度］

良いともタクシーは95.0%、班渓線は100%の目標値のところ、実績は、良いともタクシーで97.8%、班渓線で98.1%であった。

［利用人数］

◆良いともタクシー

合計	目標値6,942人/年	→	実績5,823人/年	(83.9%)
①班　渓	目標値　305人/年	→	実績　237人/年	(77.7%)
②渓　和	目標値　 78人/年	→	実績　197人/年	(252.6%)
③北　町	目標値　 53人/年	→	実績　 30人/年	(56.6%)
④まちなか	目標値5,496人/年	→	実績4,419人/年	(80.4%)
⑤上 名 寄	目標値　324人/年	→	実績　356人/年	(109.9%)
⑥一の橋・二の橋・三の橋	目標値　686人/年	→	実績　584人/年	(85.1%)

◆班渓線　目標値4,493人/年　→　実績3,950人/年（ 87.9%）

［効果］

交通弱者や交通空白地帯を解消するとともに、高齢者等の移動負担を軽減し、日常生活に必要不可欠な生活の足を確保することができ、一定程度の成果は達成できたものと考えている。

しかし、令和5年5月8日から新型コロナウイルス感染症が5類に移行したものの、その影響は残っており利用増加には繋がっておらず、地域によっては利用人数が目標値を下回る結果となっている。

7）事業の今後の改善点

人口減少による利用者数の減少は今後も懸念されるが、65歳以上人口比率が4割を超え、高齢化に伴う免許証の返納などにより、今後も公共交通の必要性は高い地域と見込まれる。また、アンケート調査による地域公共交通の満足度は概ね高く、地域の公共交通としての役割は一定程度果たしている。

今年度は、運行年度途中から新型コロナウイルスは５類感染症へ移行し、外出の自粛などの措置はなくなったものの、減少した利用者は戻っておらず、利用は低迷している状況が続いている。そのため、今後もその影響を見極めていく必要がある。

今後も効率的な運行ルートの設定と国庫補助金の活用により安定的な運行を目指していく。

8）地方運輸局等における二次評価結果

（令和6年度分と併せて評価）